

給与について

当センターの給与規程により、学歴及び経歴を考慮の上、初任給(給料)を決定します。令和5(2023)年4月1日現在における初任給は、右図のとおりです。

官公庁、会社等に勤務した経験のある方は一定の基準により加算されます。

このほか、家族構成や勤務状況等に応じ、扶養手当、地域手当、住居手当、通勤手当、超過勤務手当等を支給します。

また、期末・勤勉手当(ボーナス)が6月と12月に支給されます。(昨年度は年間4.4か月分を支給。ただし、在職期間等によって異なります)

大学新卒	高校新卒
188,500円	158,900円

勤務時間・休暇について

勤務は原則午前8時30分から午後5時15分まで。働き方改革として、「時差出勤」も選択可能。令和2(2020)年度から原則週1回の在宅勤務も実施。

また完全週休2日制で、土曜日と日曜日が週休日となっています。

年次休暇(有給休暇)は年度ごとに20日付与され、このほかにも夏季休暇、産前産後休暇、短期介護休暇、看護休暇等があります。



公益財団法人とちぎ建設技術センター
本部(河内庁舎別館1階・2階)
栃木県宇都宮市竹林町1030-2
TEL:028-626-3186 (代表)

センターのことをもっと知りたい方は、
ホームページをご覧ください!!
<https://www.tochigictc.or.jp/>
皆様のご応募お待ちしております!

とちぎ建設技術センター

検索

令和5(2023)年度

職員採用ガイド

私たちと一緒に

令和5(2023)年9月17日(日)試験版

とちぎ建設技術センターで働いてみませんか?



【積算】一般国道119号上戸祭立体(仮称)鋼橋上部工建設工事
(栃木県受託業務)

とちぎ建設技術センターは、主に栃木県庁や県内各市町の土木、建築、下水道行政を支援するため、積算業務や現場技術業務、下水道処理施設の維持管理業務等を行う団体です。



公益財団法人 とちぎ建設技術センター

とちぎ建設技術センターとは？

とちぎ建設技術センターは、道路、河川、下水道及び公共建築などの社会資本の整備や管理を通じて、安全で豊かな地域づくりに貢献する団体です。

主に栃木県庁や県内各市町の土木、建築、下水道行政を支援するため、積算業務や現場技術業務、下水道処理施設の維持管理業務等を行います。

経験豊富な先輩方による技術指導や、年代別に合わせた外部研修体制を完備し、業務に必要な資格の取得支援も積極的に行っています。

また、給与や休暇制度、福利厚生については栃木県庁に準じた制度を取っているため、ワークライフバランスも充実しています。

あなたも、とちぎ建設技術センターで働いてみませんか？

理事長から就活者（生）の皆様へ

とちぎ建設技術センターは、専門分野も経歴も多種多様な人材が揃った団体です。

今回募集する電気職は県流域下水道施設の修繕工事の積算・現場技術業務等を担う職種です。

土木職は、公共建設工事の設計書を作成する「積算業務」や、県や市町の現場監督を支援する「現場技術業務」を担う職種です。

地域住民の日々の安全な暮らしや未来に向けた発展の礎（いしずえ）を築く、大変重要な仕事を行います。

～夢と希望を持った皆様の応募を心からお待ちしております～



公益財団法人
とちぎ建設技術センター
理事長 田城 均

先輩職員からのメッセージ

◎とちぎ建設技術センターに就職した理由は何ですか。

高校では3年間土木を専攻して学んだこともあり、将来は土木で地域貢献できる職業に就きたいと考えていました。高校での就職活動の際にセンターのことを知り、社会資本の整備・発展の支援という形で地元に貢献できると思い、就職を希望しました。

◎担当している業務はなんですか。

公共工事の積算業務を担当しています。工事発注に必要な工事の金額を算出し、図面や数量、設計書などを発注者に納めています。

◎今まで印象に残っている仕事は何ですか。

私が携わった業務が土木工事として発注され、県民の皆様が安全・安心な生活を送れるようになることで、大きな達成感を得られることです。

◎今後どのような技術者になりたいですか。

道路や河川等、様々な工事の積算に挑戦し、現場技術業務でも多くのことを見て聞いて学び、たくさんの経験を得られるようにしていきたいです。



建設部 北部出張所
技師 山口 涼義
(土木職/入社3年目)

◎とちぎ建設技術センターに就職した理由は何ですか。

栃木県内地域に対し社会貢献したいと考え就職活動を行っていたところ、多様な業務を担う当センターを知り、就職を希望しました。

◎担当している業務はなんですか。

栃木県内の流域下水道の浄化センター及び下水道資源化工場の維持管理業務を担当しています。

◎今まで印象に残っている仕事は何ですか。

県内の下水処理場の更新及び災害復旧・修繕工事の工事管理を担当できたことが自身のスキルアップにも繋がりました。

◎今後どのような技術者になりたいですか。

担当業務でもまだまだ知らないことがたくさんありますので、日頃から学び、現在担当している分野のスペシャリストになりたいです。



下水道部 下水道資源化工場
主任 田崎 佑哉
(電気職/入社5年目)